

第6回「日本興亜おもいやりプログラム」 応募要項

「日本興亜おもいやりプログラム」とは

はじめに

私たち日本興亜保険グループは、「豊かで健全な社会の発展に貢献する」というCSRの根幹をうたっております。この企業理念を実現するため、1996年4月に「日本興亜おもいやり倶楽部」が発足いたしました。

この倶楽部の会員は日本興亜保険グループ役職員の有志です。会員ひとりひとりから毎月100円ずつを集め、その同額の会社供出を原資として、役職員と会社が一体となって社会貢献活動を行っています。

「日本興亜おもいやりプログラム」は、「日本興亜おもいやり倶楽部」を母体として、2005年に開始されたプログラムです。NPOを中心とする民間非営利団体の活動への自立支援を通じて、非営利セクターの発展とともに健全な社会の発展に貢献することを目的としています。

「環境」「教育」「女性」

同プログラムは2005年より通算で、26団体に計1,300万円の支援を行ってまいりました。本年度は、初めて公募による助成を行うこととなりました。「環境」「教育」「女性」の3分野において、先駆的な取り組みを行っている団体の、自立支援をめざした助成を行います。

活動団体の自立支援

私たちは、非営利団体の自立を支援することが重要であると考えています。大切なお金は、社会の継続的な発展に貢献しなければ意味がないからです。また、支援は一過性・一方的に終わるのではなく、支援先と協働を図りながら、私たちも社会とともに良くなっていきたいと考えています。

特定非営利活動法人パブリックリソースセンターとの協働

寄付金の原資は従業員の思いであり、会社の拠出金も、もとはお客様の大切な保険料です。このお金をより有効に使うために、民間非営利団体の発展と非営利セクター強化を図り、新たな市民社会の仕組みづくりをめざすパブリックリソースセンターとの協働のもと、同プログラムを実施しています。

助成について

助成の対象団体

下記の3分野のいずれかで先駆的な活動をしており、かつ団体の自立・自稼働への高い意識を有する組織、あるいは、3分野のいずれかの活動を行う団体の自立・自稼働を支援する中間支援組織

1) 環境

- ・ 生物多様性の維持、森林保全等、地球温暖化防止、環境保全に貢献する活動・研究

2) 教育

- ・ 教育分野における課題の解決を目指した活動、先駆的、独創的な活動・研究
- ・ 既存の制度では支援、実施が困難な青少年に対する教育を目指した活動・研究

3) 女性

- ・ 女性に関わる社会的課題の解決を目指した活動・研究
- ・ 女性の社会参画に関わる先駆的、独創的な活動・研究

助成対象プロジェクト

- ・ 団体の自立・自稼働につながるプロジェクト
- ・ 今後2～3年の目標を実現するための、団体運営上の課題を解決するためのプロジェクト
(例) 自主財源の獲得につながるような新規事業の開発、人材の育成、広報ツールの作成、ファンディング(資金調達)体制の強化 等

【非対象事業】

以下の事業は助成対象としません。

- ・ 政治活動、選挙活動、訴訟活動に関わるもの
- ・ 土地や建物等の取得
- ・ 基金・賞・助成の創設・充当
- ・ 宗教の布教を目的とするもの
- ・ 営利を目的とするもの
- ・ 個人が単独で行う研究・調査等の事業
- ・ 奨学金や生活費補助など特定個人への金銭授与を主たる目的とする事業
- ・ 趣味的、レジャー的色彩の強いもの
- ・ 日本興亜損害保険株式会社の企業理念、行動指針に抵触するもの
- * 日本興亜損害保険株式会社の企業理念・行動指針は、下記の会社説明およびホームページ「日本興亜損保のプロフィール」をご覧ください。 <http://www.nipponkoa.co.jp/company/index.html>

助成額と用途

- ・ 一団体あたり助成額:50万円(ただし、審査により変更される場合があります)
- ・ 助成額総額 300万円
- ・ 助成金の用途に制限は設けません。団体の自立や組織基盤の強化につながる、人件費、家賃、設備費、研修費、講師謝金などを助成します。

助成対象事業期間

- ・ 2011年2月1日～2012年1月31日までの1年間
- ・ 複数年の継続助成も行います。ただし、その場合は自動更新ではなくそのつど申請を受け、審査を経て決定します。

選考について

選考方法

- ・ 申請書類にもとづき、特定非営利活動法人パブリックリソースセンターと日本興亜損害保険会社が協議を行い、以下の選考基準にもとづいて候補団体を選考します。候補団体には日本興亜損害保険会社およびパブリックリソースセンターがうかがってヒアリングを行い、助成団体を最終的に決定いたします。

選考基準

以下の基準にもとづいて選考を行います。

- ・ 団体のミッションが明確かどうか
- ・ 社会変革を生み出すことを目指した先駆的な活動を行っているか
- ・ 収入源の開拓努力が見られるか
- ・ 団体の財政が健全か
- ・ 団体としての、今後2～3年の計画を持っているか、またその計画を実現するための組織体制を築きつつあるか
- ・ 助成金を活用しての自立・自稼働への取り組みが明確に述べられているか
- ・ 助成プロジェクトの内容と計画に妥当性があり、説得力があるか
- ・ 助成プロジェクトを実施することにより、団体および社会にとっての成果が期待できるか

選考結果

2011年1月下旬に、文書にて連絡いたします。

助成金の支払い

日本興亜損害保険株式会社より2011年1月末日までに一括振込みいたします。

応募について

申請手続き

1、申請書類

- ・ 申請用紙にご記入の上、電子メールに添付してお送りください。(所定の様式を使用し4ページ以内でご作成ください。申請用紙のフォームを電子データでご希望の場合は、パブリックリソースセンターのホームページからダウンロードしていただくか、yukie@public.or.jp までメールでお申込みください。)
- ・ 添付書類(様式自由、電子メールに添付できない場合は、郵送でも結構です。郵送の場合は、各2部お送りください。)
 - 前年度の事業・会計報告書
 - 今年度の事業計画書・予算書
 - 団体を紹介する資料(パンフレット、ニュースレター、新聞記事のコピーなど)

2、申請方法

上記の書類を2010年10月12日(火)必着で、以下までご送付ください。

【申請書送付先・お問い合わせ先】

〒104-0043 東京都中央区湊2-16-25-202

特定非営利活動法人パブリックリソースセンター

「日本興亜おもいやりプログラム」 担当:田口宛

電話:03-5540-6256 Fax:03-5540-1030 E-mail:yukie@public.or.jp

成果報告

助成を受けてから1年後に成果報告をしていただきます。詳細は追ってご連絡いたします。

日本興亜損害保険株式会社について

日本興亜保険グループは、「自主独立の精神と自由闊達な社風のもと時代を動かす新しい発想とたゆまぬ努力で豊かで健全な社会の発展に貢献する」ことを企業理念とした、独立系の保険グループです。損害保険業と生命保険業をコア事業と位置づけ、周辺サービスも含め保険に対するニーズに総合的に応えています。

会社概要(2010年3月31日現在)

創業:1892年(明治25年)

資本金:912億円

総資産:2兆5,924億円

正味収入保険料:6,333億円(2009年度)

社員数:8,883名

代理店数:国内28,520店、海外5店

国内営業拠点:営業課・支社・営業所国内439か所

損害サービス拠点:182か所

海外拠点:21か国・地域、78年

(2010年4月1日現在)

特定非営利活動法人パブリックリソースセンターについて

パブリックリソースセンターは、2000年1月に設立された、非営利・中立のシンクタンクです。協働による「パブリックリソース」開発を通じ、民間非営利団体の発展と非営利セクター強化を図り、新たな市民社会の仕組みづくりをめざす民間非営利の実践型シンクタンクです。

寄付文化創造/ファンドレイズ支援

- オンライン寄付サイト Give One(ギブワン)の運営
- ステークホルダー参加型オンライン寄付システムのご提供

SRIのための社会性評価/コミュニティ投融資の開発

- SRI株価指数(モーニングスター)のための、企業の社会性に関する調査・評価

ミッションベイスド・マネジメントの実現/CSR推進

- NPOマネジメント支援コンサルタント養成入門講座
- NPOなど非営利組織への個別相談・コンサルティング
- 企業の社会貢献プログラムの設計